



南国市社協だより

第219号

まんてん

3

月号

平成28年3月1日

発行 社会福祉法人南国市社会福祉協議会
〒783-0001 高知県南国市日吉町2丁目3番28号
南国市社会福祉センター内
TEL 088-863-4444
FAX 088-863-4445

メールアドレス nfukusi@nanshakyō.or.jp
ホームページ <http://nanshakyō.jp/>



- P 2 ... 「地域福祉計画」・「地域福祉活動計画」について
- 3 ... 「地域福祉フォーラム3 関嬉扇」のお知らせ
- 4 ... 長岡東部保育園だより
- 5 ... 岡豊保育園だより
- 6 ... 子育て支援センター にじいろセンターおこう日誌
- 7 ... 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金のお礼と報告
the 若もん！／たくさんの愛をありがとう!!
- 8 ... 紹介！私の町の地域のちから／傾聴 ボランティア 南国きく会
- 9 ... あったかふれあいセンターからのお知らせ／なんこくボランティア活動列車のお知らせ
- 10 ... 地域包括支援センターについて
- 11 ... いのちを守るお知らせ 緊急地震速報
- 12 ... 「なんこく生活総合相談会」のお知らせ

も
く
じ



南国市社会福祉協議会のホームページは
こちらからどうぞ ↓



新たな“ふくじ”の風がふく

南国市地域福祉フォーラム3

かんきせん 関 嬉 扇

入場無料

日時 平成28年3月20日(日) 13:30~16:40

場所 グレース浜すし 2F (〒783-0004 南国市大桶甲1504-8)

テーマ みんなが理解しあえる地域づくり
~それぞれが理解しあえた時に地域づくりが始まる~

講演 「支え合いマップで助け合い起こし」

地域福祉の講話や実際、地域で活動されている話をとおして、自分の地域での、「安心して暮らしつつける地域づくり」や「関係・つながり」を改めて考えます。又、ご近所の関わりを深めて、嬉しさや楽しさを改めて感じるヒントになると思います。自分の地域の **ふ**だんの **く**らしの **し**あわせを考えてみませんか？



手話通訳・要約筆記 あります

講師

住民福祉総合研究所 所長
●木原 孝久 氏



東京生まれ。早稲田大学第一政治経済学部卒業後、福祉施設職員や福祉医療雑誌記者、(社福)中央共同基金を経てフリーに。一方で40年以上にわたり住民の福祉のあり方を追い求めてきた。その中で、住民の助け合いの実態を把握する「支え合いマップ」を開発するとともに、「助けられ上手講座」の開催支援や「ご近所福祉サポーター」の養成など、住民の福祉を定着させるための各種事業を展開している。日本人のおつき合いの習慣が助け合いを阻んでいることに着目、「おつき合い革命」を訴えている。講演、執筆、ラジオ・テレビ出演等。現在、埼玉県在住。

シンポジウム

「専門職からみた地域の現状について」

シンポジスト

- 中山 尚 南国市福祉事務所子ども相談係 係長
- 中島 香代 南国市保健福祉センター 保健師
- 中島 香代 地域活動支援センター「南国」 相談支援専門員
- 澤江 陽子 南国市地域包括支援センター 社会福祉士
- 川村 正臣 あんしん生活サポートセンター 主事
- 中本 有香理

コーディネーター

- 丹生谷 行朗 あんしん生活サポートセンター 係長

●主催 南国市・社会福祉法人南国市社会福祉協議会

●共催 南国市民生児童委員協議会

「地域福祉計画」・「地域福祉活動計画」について

南国市と社会福祉法人南国市社会福祉協議会（以下、社協）では、「地域福祉計画」・「地域福祉活動計画」に基づき、連携して地域福祉の推進に取り組んでいます。

両計画とも5ヵ年計画（第1期：平成24年度～平成28年度）のため、今後は、第2期（平成29年度～平成33年度）に向けて、計画の見直しを進めていきます。

【地域福祉計画とは】

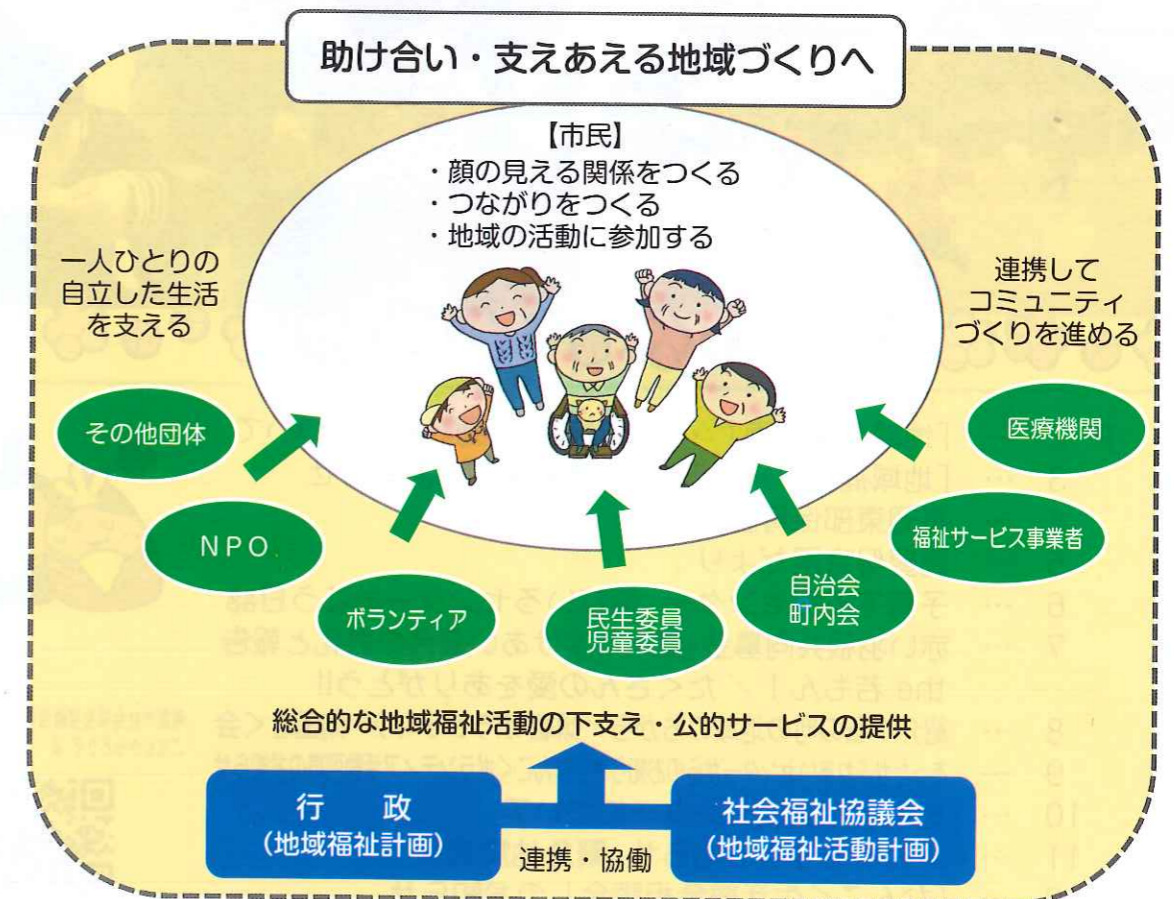
社会福祉法第107条の規定に基づき、地域福祉の推進に取り組むための総合的な計画として市町村が策定する計画

【地域福祉活動計画とは】

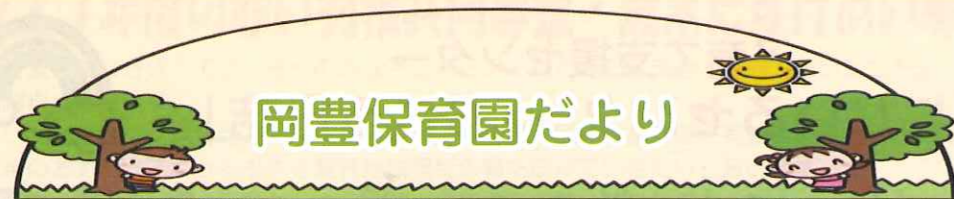
「安全・安心な福祉のまちづくり」を進めていくため、社協が中心となって、民間活動計画として住民主体・住民参加のもとにつくる計画

南国市では、『地域支えあいづくりの推進』『安全、安心のまちづくり』『健康づくり、生きがいづくりの支援』の3つを基本目標に掲げ、すべての市民が住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らすことができる地域づくりを目指しています。

★地域福祉推進に向けたイメージ



okou hoikuen dayori okou hoikuen dayori okou hoikuen dayori okou hoikuen dayori okou hoikuen dayori



岡豊保育園だより

岡豊保育園のホームページは
こちらからどうぞ↓



1月、毎朝9時になると音楽が流れて乳児組（0、1、2歳児）はトラックの内側を白い息を吐きながらトコトコと機嫌よく走ります。

幼児組（3、4、5歳児）は、トラックの外側を寒さに負けず元気いっぱい走って風邪に負けないパワーを貯めました。マラソンの後も各年齢が作ったの凧を揚げて、庭や旧園舎跡の敷地を走りまわり高く上がった凧に歓声を上げていました。

ある日その凧の糸が外れて電線に引っかかるハプニングがありました。四国電力に連絡したところ「ここ数年、凧が引っかったという報告もなかったので久しぶりに凧を外しました。」と話してくれました。

こうした伝承あそびも保育園（集団）ならではの取り組みになっているようで大事に伝えていこうと思ったことでした。



1月中旬、地元消防団に来園して頂きコマ回しをして交流しました。

各年齢、コマ回しを楽しむ姿を見てもらった後、消防団の方々もコマ回しを披露してくれました。おじさん、お兄さんが回すコマをキラキラ目を輝かせて見入っていたおこうっこ達です。

その後、消防団 VS 5歳児きりん組・消防団 VS 保育士でコマ回し競争も盛り上がりました。たくさんの歓声と拍手で勝負を楽しみました。そんなあそびと同時進行で「節分」に向けての鬼遊びにドキドキハラハラ。節分を迎える迄には、孫悟空からもらった旗がなくなったり。鬼から手形のついた手紙が届いたり、保育園が荒らされたり……。でも、大丈夫!! きりん組を中心に一つ一つの出来事を力をあわせてクリアしながら、本当はちょっぴり(?)怖いけど小さい友だちを守ろうと、いっぱいいっぱい勇気を出してくれました。

大好きなきりん組さんと一緒に過ごす時間もあと少しとなりました。一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。



nagaoka toubu hoikuen dayori nagaoka toubu hoikuen dayori nagaoka toubu hoikuen dayori nagaoka toubu hoikuen dayori

長岡東部保育園だより

職員室の東側に図書室が完成。昨年の秋から始まった工事も12月には終わり、12月11日には落成のもち投げもありました。

近ごろはめったにできない経験ですが、0才児から順に1才・2才・3才・4才・5才児、そして先生たち・・・と全員が大騒ぎでおもちやお菓子を拾いました。おもちには目もくれずお菓子ばかり拾う子、おもちもお菓子も飛んでくるものはすべて袋に入れる子など様々な姿がありました。屋根の上の岸本局長、中澤設計さん、大工の那須さんも大喜びでした。



1月に入って、本屋さんや在園児のおばあちゃん、職員などからいただいた本が本棚に納まり『ほっこり部屋』として解禁され、子どもたちは大喜びで好きな時に自由に絵本を見ています。また、お迎えに来たお母さん達に待ってもらうための憩いの場としても利用してもらっています。



そして・・・子どもたちはいま、お正月あそびに夢中！ クリスマスにサンタさんからもらった『こま』（0才→UFOこま、1・2才→手まわしごま、3才→糸引ごま、4才→木芯ごま、5才→鉄芯ごま）を楽しんでいます。“いつでもどこでも回せるようになろう！”を合言葉に、一生懸命練習してみんなが回せるようになりました。1月20日の『こま回し大会』では腕を競い合いました。本番では緊張して回せなかった子もいれば、練習では失敗していた子が本番では力を出し金メダルをもらったり、先生も挑戦したりと熱のこもった大会となりました。

お正月あそびといえはもうひとつ忘れてはいけないのが『凧上げ』。ぞう組（年長）さんは地域の『凧名人』野中高さんに土佐凧の作り方を教えてもらい、園長作の名前入りの字凧ができました。くま組（年中）さんは、ニコニコの自分の顔を描いたダイヤ凧。そして小さいクラスもカラービニールやスーパーの袋に絵を描いてヒモをつけ、園庭を元気に走っています。どの凧も風をいっぱい受けて天まで上がっています。子ども達と先生達の元気な声が響いて、毎日にぎやかな長岡東部保育園です。



長岡東部保育園のホームページは
こちらからどうぞ↓



平成27年度の赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金のお礼と報告

共同募金運動につきましては、多くのみなさまからのあたたかいご支援とご協力をいただきましてありがとうございました。深く感謝申し上げます。

お寄せいただきました募金は、地域福祉活動や福祉施設・団体の事業等に有効に使わせていただきます。

みなさまのお力で、これからも引き続き地域福祉の輪を広げていきたいと思っております。

今後とも赤い羽根共同募金に変わらぬご理解、ご協力をお願いいたします。

●赤い羽根共同募金

区分	金額
戸別募金	8,561,361円
法人募金	808,500円
街頭募金	80,082円
学校募金	99,398円
その他の募金	41,355円
合計	9,590,696円

●歳末たすけあい募金

区分	金額
戸別募金	496,335円
その他の募金	33,665円
合計	530,000円



みなさまの心温まる善意、誠にありがとうございました。



ザわか the 若もん!

『the 若もん!』では、今どきの南国市内に住む若もんを毎回紹介していきます。

今の頑張っている若もん達を、そして若もん達は皆さんを支える、支えあえる南国市をみんなあてつくりましょう。

インタビュー：中山 笑美子

沖本 育実さん (21歳)
南国市大堀 高知福祉専門学校 社会福祉学科3年生

Q: 尊敬する人は誰ですか?

出身園の先生方です。卒園しても「頑張る」など、声をかけてくれたり応援してくれたりします。

Q: 社会福祉学科へ入学しようと思ったきっかけは?

小学校の頃、母のスカッシュバレーの練習について行った時、そばにいた小さい子どもと遊ぶことが楽しかったので、この学科へ入って保育士を目指そうと思いました。

Q: どんな社会人になりたいですか?

子ども、保護者、地域の方に愛される保育士になりたいと思います。

Q: 今後挑戦したいことは何ですか?

幼児体育初級公認指導者に合格したので、そのワンランク上を目指してスキルアップしたいです。

Q: 南国市のいいところは?

スーパーやカラオケなど遊ぶところもある一方、田んぼや畑など自然もいっぱいいて住みやすい環境だと思います。

Q: 学生時代、一番楽しかったことは何ですか?

友達の誕生日に、学校の教室を使ってお祝いをしたことです。

●とても笑顔が素敵な方でした!

たくさんの愛をありがとう!!

記載以外にも匿名様よりたくさんいただきました。ありがとうございました。いただいたご寄付は社会福祉事業、ボランティア活動の資金などに活用させていただきます。

【おもちゃ約30kgをいただきました!】 もち処 黒岩 (敬称略)

【古切手・プルタブ等をいただきました!】

高橋 栄子	水田 圭代	たちばな幼稚園PTA	白石設計サスケ設計工房南国	南国市役所税務課
門田 昌子	嶋村 亮子	就労支援センターコーケン	ごめん・シャモ研究会	南国市役所生涯学習課

nijiro senta okou nijiro senta okou nijiro senta okou nijiro senta okou nijiro senta okou nijiro senta okou



子育て支援センター 「にじいろセンター・おこう日誌」



日に日に厳しい寒さも和らぎ春の陽気を感じられるようになりました。にじいろセンターでもお天気のいい日には、元気に園庭に出かけプランコや三輪車に乗って遊んでいます。近くに散歩に出かけ春を見つけたりして、楽しく過ごしています。皆さんのお越しをお待ちしています。



【にじいろ日誌】

1月6日(水)《折り紙コマを作ろう!》

お正月遊び第1弾!として“折り紙で花コマ”を作りました。折り紙3枚を使い、折って折って組み合わせてきれいな花コマができました。子どもでも簡単にクルクルとまわり色合いも変化するとってもステキなコマが出来上がりました。



1月13日(水)

《手作り凧を作ってあそぼう!》

お正月遊び第2弾!今日は凧を作りました。作り方は簡単!! ビニール袋に好きな絵を描きヒモをくりつけるだけ。出来上がるとさっそく園庭へ凧上げに出かけました。

ちょうどいい風も吹いていて凧も風をうけて高く上がっていました。

た〜こり た〜こり あ〜がれ♪ とっても楽しかったね。



《節分にむけて! 節分セットを作ってみよう! お面とマス》

にじいろセンターに、大きな大きな赤鬼さんが登場!! みんなこわがることなく赤鬼さんに新聞ボールを投げたり、大きいお口に豆をたくさん食べさせたりしています。鬼は〜外!! 福は〜内!! にじいろセンターのお友達もお家で豆まきができるように、豆まきセットを作りました。節分の日には、みんなの鬼をやっつけようね!!



おにはそと! ふくはうち!



にじいろセンターおこうのホームページはこちらどうぞ



あったかふれあいセンター
地域勉強会「よっし！」
手作りガラスアート教室

桜が綺麗な季節になってきましたね。さて今回の勉強会は、スタンドグラスの雰囲気をそのままに、手軽に楽しめる新しいクラフト「NEW スタンドグラス」です！
みんなで楽しく自分だけのインテリアフォトフレームを作ってみませんか？
ご参加お待ちしております。

日時：平成28年3月26日(土) 13:00～15:30
内容：ガラスアート「インテリアフォトフレーム」、お茶会
講師：千葉 美知子氏、武田 由実氏
人数：20名 ※参加申し込みは、3月14日(月)までとなります！
(希望者多数の場合は、先着順とさせていただきます。)
参加費：1200円+お茶会代100円
準備物：使い慣れているハサミ



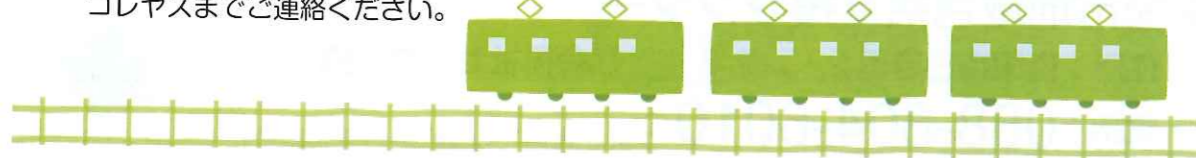
(問い合わせ先)
社会福祉法人 南国市社会福祉協議会
あったかふれあいセンター(担当：久保)
TEL 088-863-4444

平成28年度 なんこくボランティア活動列車時刻表

なんこくボランティア活動列車とは、
『ふくし』ってな～に？ ボランティアってな～に？ といった身近なことから学ぶ駅(講座)が開通します。福祉やボランティアに興味・関心のある方ならどなたでも乗車OK！
乗車は完全予約制!! でも、乗り降りも自由です!!!
わたしたちと一緒にボランティア活動の旅をしてみませんか？

月	日	曜日	時間	行き先
4	16	土	9:00～11:30	傾聴とは(南国きく会養成講座)
5	21	土	9:00～11:30	パーソナリティー障害(南国きく会養成講座)
	30	月	10:00～15:30	ありがとうポイント登録研修会
6	18	土	未定	施設見学

※場所は南国市社会福祉センター 2階です。
※時刻表は変更することがございますので、詳しくは南国市社会福祉協議会広報「まんてん」
やホームページ(URL:http://nanshakyo.jp/)をご確認ください。
または、南国市ボランティアセンター(南国市社会福祉協議会 TEL 088-863-4444)
コレヤスまでご連絡ください。



**紹介！私の町の
地域のちから** 国分編

今回、国分地域で昨年から取り組まれている
地域活性化協議会「竹灯りの会」の活動をご紹介します！
会を発足した尾木 信夫さんにお話を聞かせていただきました。



イベント「国分竹灯り憧懐の路」の様子
(平成27年7月)

●国府地域活性化協議会「竹灯りの会」の目的・活動

地域の有志が集って話しあいを行い、荒廃した地域の竹を使ったイベントの企画や運営などを行っています。活動を通しての交流、山の整備、イベントを通じて地域の人に協力してもらい参加してもらうことを目的としています。
(今までに実施したイベント)
・「国分竹灯り憧懐の路」 平成27年7月25、26日
・「竹燈夜クリスマスと和紙花灯り」 平成27年12月19、20日

●課題もあるけど、そのために…

「子どもから年配の人まで誰もが気軽に参加できるように」を大事にして、イベント会場をいくつか分散させた。しかし、住宅地内で行うこともあり、場所の割り振りが難しい。協議会の頑張りだけでなく、地域の協力を得ていくことが必要。そのために告知能力、知ってもらうことが大事だと感じた。自分たちで考えて、作ったイベント。いろんな手段で地域の人を含め、多くの人に知ってもらおう効果は大きい。

●「竹灯りの会」立ち上がりの経緯

自治会長をされている尾木さん。きっかけは地域の集まりで何度か聞いた言葉。「今の若いもんは何もせん」。本当にそうだろうか、疑問に思い、まずは若い人も年配の人も集まって話をしてみよう！と動き出したのが竹灯りの会の始まり。
1回目の会は、若者にも声をかけ話し合いの後は飲み会というスタートでした！



●「竹灯り」とは、国分の人たちの「心」だと考えています。

心が育てば、温かく心配しあう心になる。響きは良いけど、本来の姿よね。竹灯りの会の活動を通して、そんな本来の生きがいに繋がる地域づくりを目指したい。



「竹燈夜クリスマスと和紙花灯り」の様子
(平成27年12月)

●はじめてみたら、予想以上のことが…!

現在、会のメンバーは30数名。初めに声をかけた若い人が知り合いの若い人を呼び、今ではほとんどが若い人。若い人の得意なこと、年配の人の得意なこととの合わせ技が良かった！
活動の成果は、日頃から世代を超えたコミュニケーションが頻繁になった。若い人から一人暮らしのお年寄りを見守りに訪問する話が出た。イベントが地域の話題となり、活気が生まれたなどなど。
あるイベントでは、何も言っていないのに地域の方が自然と準備の手伝いに来てくれたり、家からチャッカマンを持ってきて灯籠に火をともしてくれたりして、とてもびっくりした！

地域の竹を加工してイベントをすることは一つの手段。大事なのは、そこに地域の人々がそれぞれの過程で、役割を持ち始めて、色んな元気に繋がっていること。それを竹灯りの会をきっかけに起こしていることが国分パワーだな！と感じました。
尾木さん、貴重なお話をありがとうございました!!
(聞き手) 久保、高橋

ボランティア
南国きく会

傾聴

私達は、傾聴と言う手法によって、悩んでいる人・寂しい人の心をそっと支える会です。
ボランティアに関心のある方、共に支え合う地域を、一緒に作っていきましょう。

会員募集

募集人員 10名
募集期間 平成28年3月1日(火)～3月31日(木)
養成講座 全8回(受講料500円)
申込用紙 南国市社会福祉センター玄関の棚
提出先 社会福祉法人 南国市社会福祉協議会
問合せ先 090-4506-0874
南国きく会 前田



いのちを守るお知らせ 緊急地震速報



東日本大震災からはや5年。あの震災をきっかけに、みなさんの地震に対する意識は大きく変わったのではないでしょう。か。

今回は地震による強い揺れを事前にお知らせする『緊急地震速報』について、紹介します。

緊急地震速報は、地震により最大震度5弱以上の揺れを予想したときに、震度4以上の揺れを予想した地域に対して発表されます。ピロポローンという音は、テレビやラジオ、防災行政無線、携帯電話、スマートフォンで鳴ります。またテレビでは字幕でもお知らせしてくれます。

※地震の震源に近い地域では、緊急地震速報の発表が強い揺れに間に合わないことがあります。

緊急地震速報を見聞きしたら、あわてずまず身の安全を確保しましょう!!

※緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れがくるまでの時間は数秒から数十秒しかありません※

- 1. 屋内（家庭）では**
頭を保護し、机の下など安全な場所に避難する
あわてて外へ飛び出さない
むりに火を消そうとしない
- 2. 電車・バスでは**
つり革、手すりにしっかりつかまる
- 3. エレベーターでは**
最寄りの階に停止させ、すぐにおりる
- 4. 屋外では**
ブロック塀の倒壊に注意する
看板や割れたガラスの落下に注意する
- 5. 自動車運転中は**
急ブレーキをかけず、緩やかに速度を落とす
ハザードランプを点灯しまわりの車に注意を促す

《参考・画像出典》気象庁 HP



～減災に向けた地域の体制づくりへ～要配慮者台帳への登録を!

災害時の被害を少しでも減らすためには、地域住民同士での日頃からの見守りや助け合いが大切です。とりわけ、要配慮者（※1）の方への支援は重要になってきます。

市では、地域での減災を目的に、要配慮者の方々に向けて要配慮者台帳への登録を呼びかけています。関係機関で登録情報を共有することに同意いただいた方の台帳情報は、地域の支援組織（※2）とも共有して、見守り活動や防災訓練など、減災に向けた地域の支え合いづくりに活用されます。

（※1）地域の支援を必要とする
高齢者・障害者など

（※2）自主防災組織・消防団・
民生児童委員など



【登録・お問い合わせ】

南国市福祉事務所地域福祉支援係 ☎880-6566) まで

社会福祉法人南国市社会福祉協議会



地域包括支援センターについて



地域包括支援センターは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する目的として、設置されています。高齢者が住み慣れた地域で生活できるように、必要な介護サービスや保健医療サービス、その他、日常生活支援などの相談に応じています。

業務内容

【介護予防事業】

(介護予防ケアマネジメント)

要介護認定で「要支援1」または「2」と判定された方の介護予防ケアプランの作成を行います。介護が必要な状態にならずに、元気に暮らせることを目標に、利用者と共にサービスを検討します。

また「生活機能チェック」を受けて、筋力の衰えや栄養状態の低下など生活機能の低下がみられた方を対象に運動教室を開催します。

- 介護予防ケアマネジメント ● わかガエる体操教室
- 筋力向上教室 ● ごむの木(介護予防型サロン)
- いきいきサークル ● パワーリハビリ教室
- 地域ケア会議



【権利を守ること】

(権利擁護)

悪徳商法・財産管理・虐待などに関する情報提供を行います。このようなことで、困ったときはご相談ください。

- ◇ 悪質な訪問販売の被害にあった
- ◇ 財産管理に自信がなくなった
- ◇ 虐待にあっている方がいる
- ◇ 虐待をしてしまう など
- え・が・おの会 ● 認知症サポーター養成講座



【さまざまな相談ごと】

(総合相談)

どこに相談してよいか分からない心配事や悩みなどは、まず、ご相談ください。

地域包括支援センターでは、介護に関する相談や心配事、悩み以外に、健康や福祉、医療や生活に関することなど、また高齢者だけでなく、その家族、近隣に暮らす人（高齢者）に関する相談も受けています。

迷ったときには、まずご連絡ください。

- 来所・電話・訪問による相談 ● 情報提供・紹介 など

【暮らしやすい地域のために】

(包括的・継続的ケアマネジメント)

ケアマネジャーの困りごとや相談に応じたり、一緒に対応しています。

高齢になっても、住み慣れた場所で安心して暮らすことが出来るよう地域で生活を支えるネットワーク作りを進めています。

地域の方と共に高齢者の生活全体を支えていきます。

- 介護支援専門員連絡会 など

南国市地域包括支援センターでは、主任ケアマネジャー・社会福祉士・保健師などが中心となって、高齢者が地域で自分らしく、生き生きと暮らすことが出来るよう支援しています。

一人で抱え込まずに、まず、相談してください。ともに考えながら、より良い暮らしをサポートします。

南国市地域包括支援センター

住所：南国市日吉町2-3-28 社会福祉センター内

電話：088-804-6010



今夜はあんしんシナイト★

平成28年 3月9日(水) 19時～21時30分 (最終受付21時)

なんこく 生活総合相談会

会場：南国市社会福祉センター

生活に関する様々な悩みを相談できます。

- 収入・生活費
- 法律相談
- 仕事を探したい
- ローンの滞納
- 家族のこと
- ひきこもり
- 介護について
- 病気や健康
- 高齢・障害
- 子育てについて
- 仕事上の不安やトラブル
- 多重債務
- 住居不安定
- 地域との関係
- その他相談したい事

相談無料・秘密厳守

【地図】



【相談・お問合せ先】

南国市社会福祉協議会 あんしん生活サポートセンター

TEL:088-803-4122

- 相談の事前予約を受け付けています。
- 当日来所されての受け付けも可能です。
※予約の方を優先させていただくため、お待ちいただく場合があります。
- 託児室もご用意しております。
- どなたでもお気軽にご相談ください。

主催：南国ネットワーク連絡会

構成メンバー：高知黒潮若者サポートステーション、高知県立大学、司法書士、地域活動支援センター「南国」、南国きく会、南国市地域包括支援センター、南国市福祉事務所、南国市保健福祉センター、南国市民生児童委員協議会、ハローワーク高知、法テラス高知、南国市社会福祉協議会

南国市社会福祉協議会 あんしん生活サポートセンター 生活困窮者自立支援事業